

令和6年度 大子町摺漆実技講習会実施要領

- 1 目的 日本有数のうるし産地である大子町において、漆の素晴らしさと価値の認識を深め、広く愛好者の普及に努め、延いてはうるし工芸と生産の発展に寄与する。
- 2 主催 大子漆工芸くらぶ
- 3 後援 大子町
大子町森林組合
一般社団法人大子町振興公社
- 4 日時 令和6年7月6日（土）～8日（月）
午前9時から午後4時30分まで
ただし、6日は午後1時開会、8日は、午後3時閉会とする。
- 5 会場 旧西金小学校（茨城県久慈郡大子町西金 250）
- 6 講師 漆芸家 西川雅典先生
漆くらぶ役員 大武一利 佐藤輝生（初心者対応）
- 7 参加者 漆工に興味のある方は、どなたでも参加できます。
- 8 募集人員 30名
- 9 参加料 10,000円
参加料は、初日に徴収します。また、参加料には、木地代や材料代は含まれませんので、別途購入願います。
- 10 申込方法 別紙申込書により申し込む。
- 11 申込締切 6月21日（金）必着
- 12 申込先 大子町役場農林課 〒319-3521 茨城県久慈郡大子町北田気 662
電話 0295-76-8110
FAX 0295-72-1968
E-mail nourin02@town.daigo.lg.jp
大子漆工芸くらぶ事務局（問い合わせ先参照）
- 13 食事 昼食については、各自持参してください。
なお、当日の朝、1食550円にて弁当の注文を賜ります。
- 14 宿泊 宿泊をご希望の方は、参加申込書に宿泊希望の旨記載願います。
宿泊施設／大子町営研修センター（大子町北田気 662）
宿泊料金／1泊2食（朝・夕）5,450円
- 15 問合せ先 大子漆工芸くらぶ
佐藤 電話 0295-74-1118
國谷 電話 090-2142-8998（携帯）
深谷 電話 090-2537-8390（携帯）
FAX 0295-79-3111

- 16 講習内容 【初めて参加される方・・・A班】
- ・摺漆の基礎
 - ・厚貝の嵌入
 - ・線刻による金彩
 - ・色箔による加飾
 - ・LG粉による蒔絵

- 【2回以上の参加の方・・・B班】
- ・本堅地と意匠塗り技法
 - ・各自制作中の技術指導

- 17 講習会で使用する木地・道具材料等について
 参加申込書でご注文のあった道具材料等については、当日代金と引き替えにお渡ししますので、つり銭の無いようお願いいたします。

【初めて参加される方・・・A班】

初めて参加される方については、参加申込書で御注文いただく木地セットを使用します。また、次の物品を用意してください。

	物 品 名	数 量	備 考
1	段ボール箱（大）漆の乾燥用	1 個	蓋付きの箱のもの
2	ゴム手袋（医療用等の薄手の手袋）	数枚	かぶれを防ぐため
3	綿（ふとん綿）	少量	
4	マスキングテープ（幅 1 2 mm程度）	1 個	
5	カッターナイフ	1 個	
6	はさみ	1 個	
7	彫刻刀（切出し刀・平刀・三角刀）	各 1 本	
8	消しゴム（四角い状態のもの）	2 個	
9	定規（20～30cm程度）	1 本	
10	鉛筆等筆記具	1 式	
11	タオル（乾燥風呂の中を湿すのに使用）	3 枚	
12	ティッシュペーパー	1 箱	
13	作業着（エプロン等でも可）	1 枚	
14	うでぬき	1 枚	かぶれを防ぐため
15	新聞紙	適当	
16	ぼろ布（後片づけに使用）	適当	
17	古いセトモノの皿（直径 10cm、15cm）	2 枚	漆の受皿

【2回以上の参加の方・・・B班】

・本堅地と意匠塗り技法を研修したい方は、施したいパネルや木地と手板 4 枚（広葉樹類の堅木又は合板、大きさは 450 mm× 120 mm× 12 mm）を木地固め行って持参してください。手板が用意できない方はくらぶで販売致します。

・本堅地と意匠塗り技法の研修を希望しない方は、各自制作中の技術指導になりますが、どのような物が制作中なのか申込書に記載願います。

・本堅地と意匠塗りの研修をしたい方は、次の物品を用意してください。

	物 品 名	数 量	備 考
1	木地固めを施したパネルや木地	数点	任意
2	手板（広葉樹類の堅木又は合板） 大きさ / 450 mm× 120 mm× 12 mm	4 枚	申込書で購入可
3	麻布又は寒冷紗	適当	申込書で購入可
4	定盤（ガラス板可）	1 枚	
5	へら（幅 5～6 cm）	2 本	申込書で購入可
6	木地呂漆、黒呂色漆	各 1	申込書で購入可